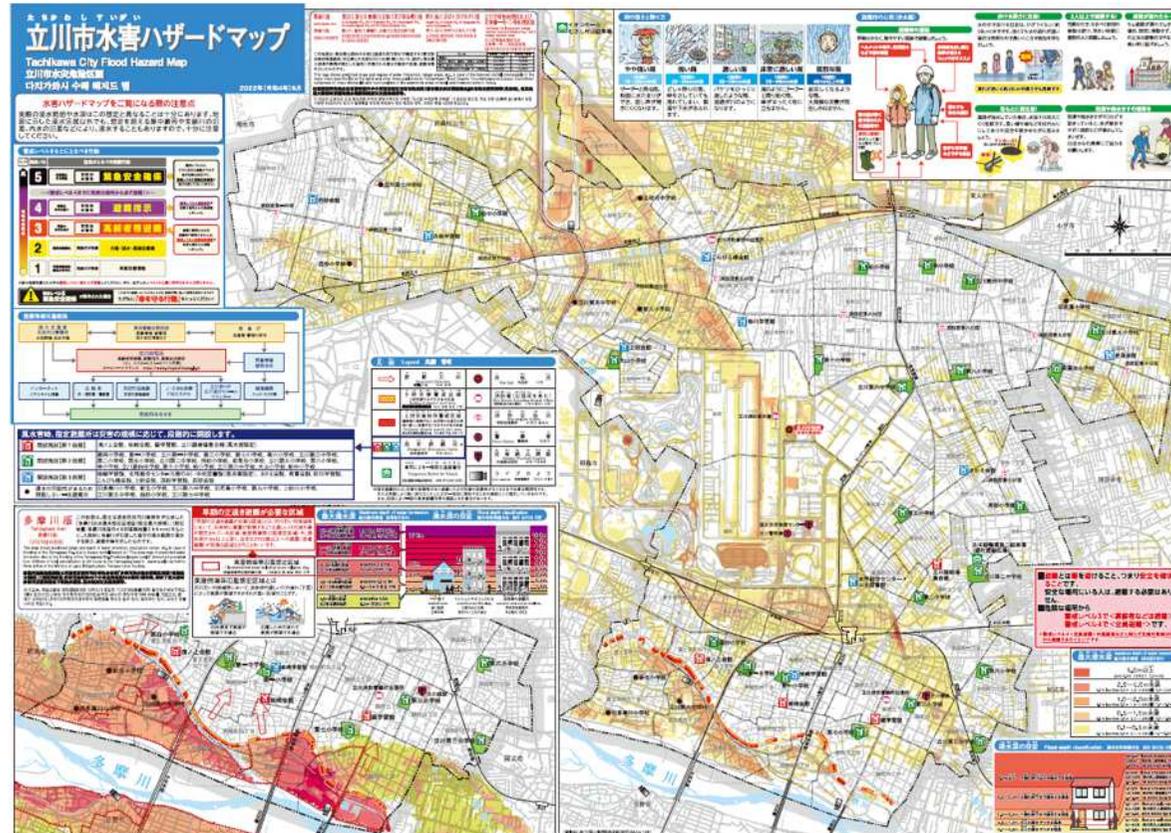


# 水害ハザードマップ作成、改良と周知

○浸水予想区域を一部変更した水害ハザードマップを作成

## 水害ハザードマップ添付



○浸水予想区域の一部変更。浸水深を表す色を濃くし、見やすくした。

○市民に全戸配布を実施。広報やホームページ等を活用し、水害リスクの周知を進めていく。

# 水害に関する防災教育の推進

昭島市

○都立高校にて全校生徒(約700名)に対して、水害に関する防災教育を東京消防庁昭島消防署と共同でオンラインにて実施。



昭島市  
洪水・土砂災害  
ハザードマップの活用



- ・自宅の危険度の確認  
自宅周辺の想定浸水深は  
土砂災害(特別)警戒区域に含まれていないか
- ・避難場所の検討(避難方法を含む)  
自宅が危険であれば、どこに避難するのか  
避難時の経路は安全か



# 水防演習の充実

小平市

大型で非常に強い台風が接近し、市内複数箇所で道路冠水や家屋への浸水被害が発生したことを想定し、市、消防署、消防団及び小平防火女性の会が連携し、道路啓開、ポリタンクを使用した浸水防止活動、土のう工法及び水のう工法の訓練を実施した。



# 児童対象の浸水防止工法講座実施

東村山市

総合水防訓練を小学校で実施し、その中で6年生児童に対し以下の体験を実施  
・水圧体験(下水道局より借用) ・簡易水嚢作成 ・止水版作成体験



○新型コロナウイルスの影響により、2年ぶりとなる実働訓練の実施となった。



○消防団及び市職員が国分寺消防署員の指導のもと、水防の基本となる「土のう作成方法」と「積み土のう工法を中心とした基本工法」を習熟し、水防対応力の向上を図った。

令和4年度東京消防庁・国立市・立川市・昭島市合同総合水防訓練 国立市

## ■令和4年5月21日（国立市多摩川河川敷公園）

- ・東京消防庁など27団体 約500名が参加して大規模な合同水防訓練を実施した。
- ・消防機関による水防工法や救助訓練のほか、地域住民による簡易水防工法や協定事業者のバスを使用した避難訓練を実施した。
- ・実動訓練のほかPRコーナーを設置して風水害に関する防災意識の普及啓発をはかり、約1,000名の見学者が訪れた。



# 水防訓練の実施

東大和市

- 水防本部運営訓練を図上で実施した。実災害時に即した訓練とするため、訓練内容の見直しを行い、情報管理の徹底と新たな避難情報に対応した訓練を実施した。
- 関係機関、市民等を交えた土のう作成、各種水防工法に関する訓練を実施した。



# 令和4年度 清瀬市・清瀬消防署合同水防訓練

清瀬市

清瀬市において毎年行われている訓練であり、台風の大型化、多発する集中豪雨などに備え、防災訓練と並び重点的に取り組んでいる訓練の一つです。

避難所開設運営訓練は、避難所運営協議会の方を主体に避難所開設の初動対応や新型コロナウイルスの感染防止に配慮した受付要領などの訓練を実施いたします。

出水期前の市内冠水地域へのチラシのポスティングの実施。

## 防災関係機関による広報PR等

写真パネルや機器模型などの広報展示品により、水防対策に関する知識を高め、実際に土のうや水のう作りを体験していただきます。



## 消防署と消防団連携による土のう工法訓練

消防団は消防署と連携し、土のうを作成し、各種工法訓練を行います。

河川の越水を防止するための積み土のう工法やマンホールからの水の噴出に対応するための工法などを行います。



## 避難所運営訓練

避難所運営協議会の方や市避難所担当職員が連携し、避難所開設の初動対応を訓練いたします。体育館の被害状況確認や避難区画の設定、新型コロナウイルス感染防止に配慮した受付設営等を実際に使用する資機材を活用して実施いたします。

また、備蓄食料の配布訓練を行います。



# 水害ハザードマップ作成、改良と周知

東久留米市

○外力を想定最大規模降雨とした洪水ハザードマップを作成

- 住民にわかりやすく理解してもらうため、水害対策等が掲載されている情報面を更新。
- 東京都設置の河川監視カメラのYouTubeチャンネルの二次元バーコードを掲載。
- 今後、自治会の訓練や総合防災訓練等にて周知活用し、更に水害リスクの周知を進めていく。

# 風水害時における避難所開設運営訓練

武蔵村山市

- 風水害時における避難所開設運営訓練を実施した。
- 風水害時における避難所の開設は、「風水害編避難所運営職員向けマニュアル」に沿って原則市の職員が行うこととなっている。開設運営の担当となっている職員に対して、コロナ禍における避難所の開設から運営までの流れを実施した。

